

# 対策に知識が必要な手口

インターネット基礎 / 全国統一模擬試験（記述式）

難易度 （基本）

問. 一般家庭におけるインターネット回線とWi-Fiの関係について、論じなさい。ただし、「回線」、「接続方法」、「無線」、「速度」、「通信量」、「機器」、「契約」の七語を必ず使うこと。

この設問に自信をもって解答できなかつたら、  
インターネット契約にあたっては慎重に！  
「今よりも安くなる」と  
契約変更を勧められた後、  
一方的に機器や契約書類等が送付され、  
料金請求された等のトラブルが  
確認されています。  
勧誘されても即決せず、  
信頼できる相手に相談しましょう。

解答例は別紙



詳細情報はこちらをチェック

<https://www.caa.go.jp/notice/caution/property/>



消費者庁

トラブルに  
困ったら

消費者ホットライン

**1 8 8**



# インターネット基礎 / 全国統一模擬試験（記述式）

難易度



（基本）

問. 一般家庭におけるインターネット回線と Wi-Fi の関係について、論じなさい。ただし、「回線」、「接続方法」、「無線」、「速度」、「通信量」、「機器」、「契約」の七語を必ず使うこと。

## 【解答例】

ネット上のデータを水に例えると、インターネット回線は自宅までの水道管であり、自宅内の蛇口への接続方法としての無線方式の配管が Wi-Fi と言うことができる。

インターネット回線の利用には、水道と同様に契約が必要であり料金が発生する。一方で Wi-Fi は、機器さえ用意すれば自宅内での利用に際して料金は発生しないのが一般的である。

インターネット回線には複数の形態があり、通信速度、データ通信量、開通までに要する期間、回線工事の要・不要等が異なるので、契約にあたっては、ニーズと自宅環境に最適なものを選ぶことが重要である。またその際、料金体系に従量制の要素が含まれているかどうか、しっかり確認しておく必要がある。

Wi-Fi 機器も、通信規格・最大通信速度・電波強度等で様々な製品が選べる環境にあるので、こちらもニーズと自宅環境に最適な選択が望まれる。

このように、インターネット回線と Wi-Fi 機器には、多くの選択肢が存在するので、最適な回線契約、接続方法、機器構成を選択するように留意したい。

万が一、不本意な契約をしてしまった場合は、クーリング・オフ等について消費生活センター等に相談することも重要である。